

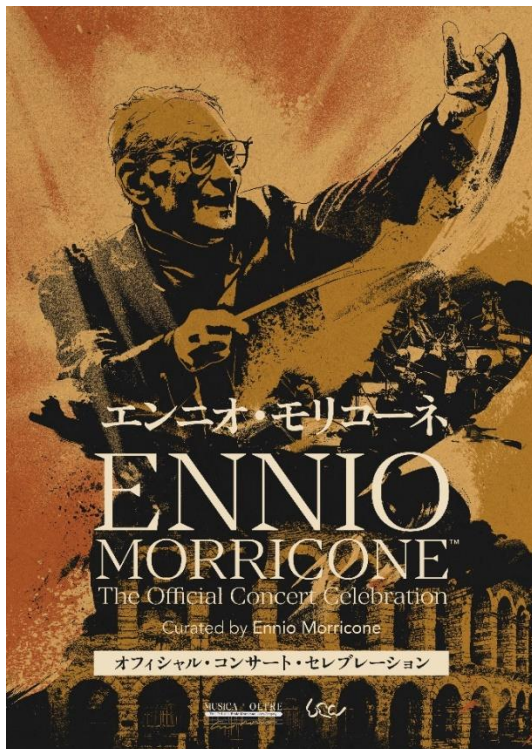
〈報道関係のみなさま〉

## 映画音楽の巨匠エンニオ・モリコーネ トリビュート・コンサート

11月5～6日 「ニュー・シネマ・パラダイス」など生演奏と大スクリーンの映像で

株式会社朝日新聞社(代表取締役社長:中村史郎)などは、「ニュー・シネマ・パラダイス」で知られる映画音楽の巨匠エンニオ・モリコーネのトリビュート・コンサート、「オフィシャル・コンサート・セレブレーション」を11月5～6日に東京国際フォーラムで開催します。2020年に亡くなるまで「ニュー・シネマ・パラダイス」「海の上のピアニスト」「ワンス・アポン・ア・タイム・イン・アメリカ」など、数々の映画史に残る音楽を創作したエンニオ。コンサートは次男のアンドレアが指揮し、エンニオにゆかりのあるミュージシャンが多数出演。エンニオが残した名曲を、スクリーンに映し出された映画のシーンとともに、コーラスを含めた総勢約140名のフル・オーケストラが奏でます。また、エンニオのバックステージの様子やインタビュー映像など、貴重な映像も初公開されます。東京が世界初演となるこのコンサート、エンニオ音楽のファンも映画ファンもぜひお見逃しなく!

■詳しくは公式HP(<https://www.promax.co.jp/morricone>)



### ◇プログラム

- 「続・夕陽のガンマン」(1967)
  - 「ワンス・アポン・ア・タイム・イン・アメリカ」(1984)
  - 「アンタッチャブル」(1987)
  - 「ミッション」(1987)
  - 「ニュー・シネマ・パラダイス」(1989)
  - 「海の上のピアニスト」(1999)
  - 「マレーナ」(2001)
  - 「ヘイトフル・エイト」(2016)ほか
- ※カッコ内は日本公開年。曲目は変更になる可能性があります。

>

contact

〈お問い合わせ〉

朝日新聞社 総合プロデュース本部  
TEL 03-5540-7761 FAX 03-3248-0939



press release

2022年10月27日

# 朝日新聞

朝日新聞社 〒104-8011 東京都中央区築地 5-3-2

## 【公演概要】

11月5日(土)16:00 開場／17:00 開演(販売予定枚数終了)

11月6日(日)11:00 開場／12:00 開演

11月6日(日)15:30 開場／16:30 開演

東京国際フォーラム・ホール A(東京都千代田区丸の内 3-5-1)

S席 15,000円/A席 13,000円

## 【モリコーネの音楽を愛する著名人からのメッセージ】(出演の予定はありません)

○石丸幹二(歌手・俳優)

僕の人生のかたわらには、いつもモリコーネがいて、音楽の彩りを添えてくれた。

不意を突き、メロディーの切れ端が耳に届くとき、僕の涙腺は、なすすべもなく、ゆるんでしまう。

あたかもアルバムのページを繰るように、あの時この時の情景を思い起こしながら、いつしか彼のメロディーを口ずさむのだ。

○坂本龍一(アーティスト・音楽家)

モリコーネ先生とはついに会いすることは叶いませんでしたが、常に身近に感じてきた偉大な存在です。

『1900』のテーマはよく弾いてきましたし、数多くある先生の音楽はいつも愛聴してきました。

先生は万人が涙する音楽も書ければ、「アラビアンナイト」のような摩訶不思議な音楽も書けるといって、幅広く柔軟な能力をお持ちで、その意味でも稀有な存在です。

僕はこれからも先生の音楽を聴き続け、大きなインスピレーションを得るでしょう。

あなたがいてくださってありがとうございます。

○都倉俊一(作曲家・編曲家)

何か作曲していると時々「ニュー・シネマ・パラダイス」のメロディーが浮かんでくる。ハーモニーを構成していると「あ、此れワンス・アポン・ア・タイム・イン・アメリカだ・・・」と思う時がある。

それほどモリコーネ・メロディー、モリコーネ・サウンドは僕の体に沁み込んでいるのかもしれない。

思えば16歳の頃から聞いているモリコーネは間違いなく僕の映画音楽の一つの原点である。

>

contact

〈お問い合わせ〉

朝日新聞社 総合プロデュース本部

TEL 03-5540-7761 FAX 03-3248-0939